

# WL17 SUPタテ7枚積載ランチャー Jタイヤ(業務向)

このたびはSUPタテ7枚積載ランチャーをお買い上げいただきありがとうございます。

製作する前に下記を良く読んで組立てをしてください。各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

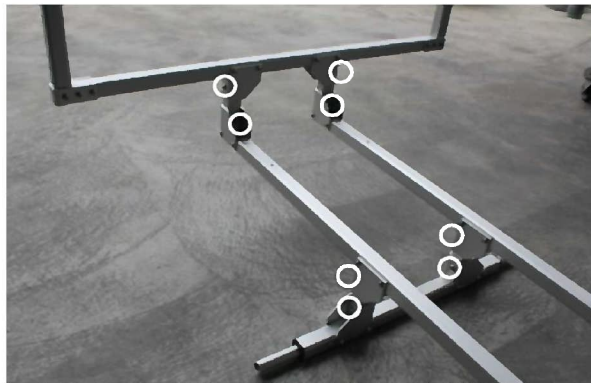
パッキングリスト 箱に入っているパーツを確認します。

番号	品番	名称	数量
1	WL17-01	前フレーム2400mm	2
2	WL17-02	受けフレーム900mm	2
3	WL17-03	車軸フレームのみ600mm	1
4	Z38-1	38角車軸カラー片側ブラ成形(半割X2)	2
5	Z506-4	車軸シャフトWL03、BY300、50、520	2
6	JS201	取手パイプ J-130S&SX用	1
7	WL17-04	後受け幅がイト 550mm	2
8	WL17-05	前受け幅がイト 450mm	2
9	WL17-06	前フレーム連結パイプ 262mm	2
10	WL17-07	取っ手接続パイプ 200mm	2
11	WL17-08	後受け高さフレーム 150mm	2
12	WL17-09	前受け&車軸支柱フレーム 135mm	4
13	IB040090AA	38角ブラケット90mm	12
14	IB040120AD	38角ブラケット120mmヒールブラケットフレーム	2
15	IB040038AB	38角ブラケット38mm 3穴	8
16	P03-8-50	SUSプラストラス8-50	12
17	P23-08	SUSフランジナットセレート付 M8	12
18	P03-6-52	SUSプラストラス6-52 切詰	56
19	P23-06	SUSフランジナットセレート付 M6	56
20	TA40J	Jタイヤベアリング 16x6.50-8新キャップ	2
21	Z521	Dリング	2
22	WL17-10	WL17用 前後受け用ハット 900mm	2
22	WL17-11	WL17用 後受け用ハット 505mm	2
22	WL17-12	WL17用 前受け用ハット 405mm	2
	Z6028-1	38角用エンドキャップスリット丸穴付黒	6

7.8.10番に付いています

■組立て手順

※ 組立てをする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。



写真内の

○印部分はプラストラス8-50を使用します。  
それ以外はプラストラスM6-52を使用します。

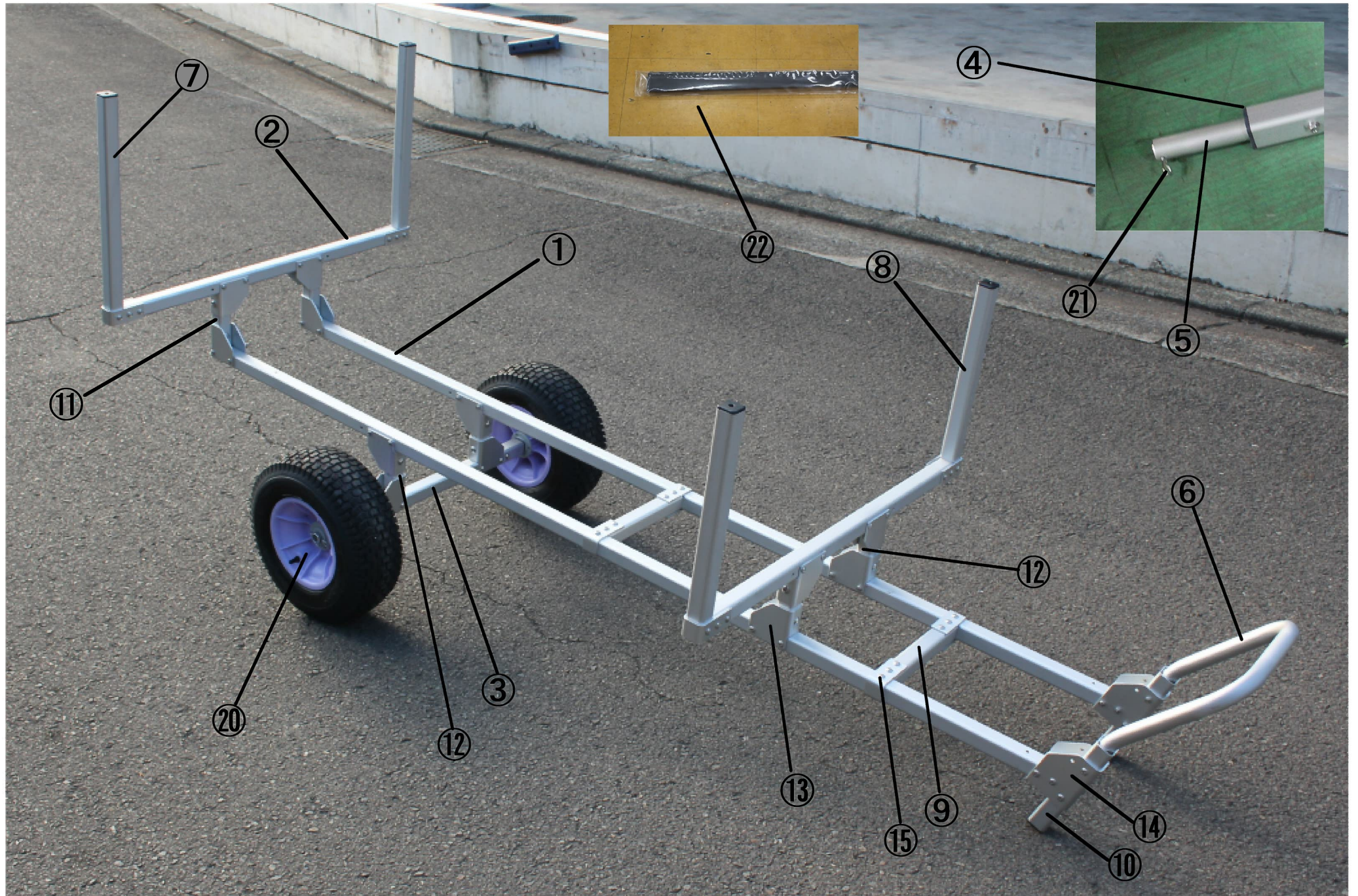


最後にタイヤを車軸へ差込んで、抜け止めDリングを差して完了です。

## ■使用上の注意

- 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。
- ランチャーはSUP、カヌー、ウインド、ロングボード用です。無理な積載は破損の原因になりますのでおやめください。
- 動力での牽引は絶対にしないでください。破損の原因になります。
- ご使用前には必ずボルト&ネジ類のゆるみがないか確認してください。ゆるんだまま使用すると破損の原因や事故等危険です。
- すり減ったクッション材は必要に応じて交換してください。
- 素手足で不用意にパイプのカット部等触れますと怪我の原因となります。必ずグローブ&ブーツを着用のうえご使用ください。
- 誤った組立て、もしくは使用方法での交換等には応じかねますのであらかじめご了承ください。

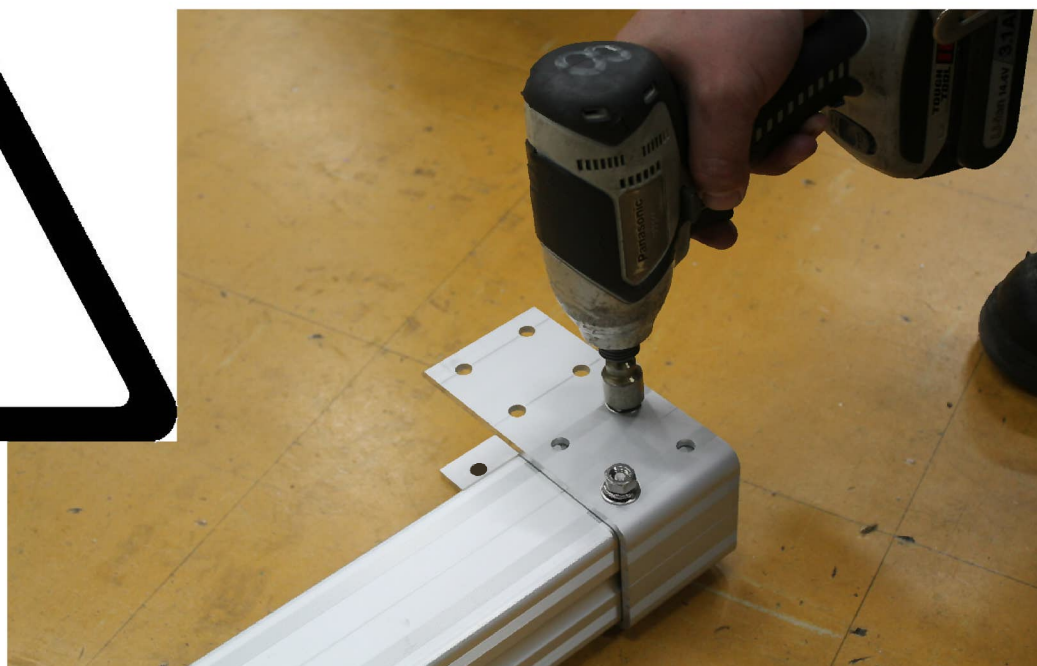
# 部品表番号



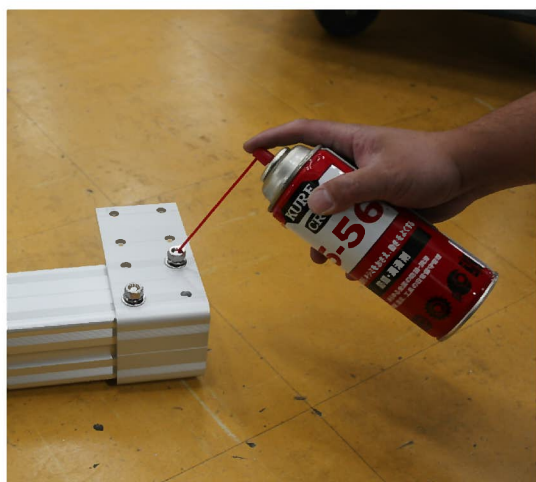
## <<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。  
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



# 急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。

## タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

### TA40F/TA40G/TA40J (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

### TA40A(アルミランチャー、トランサムドローリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

### TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

### 上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPをご覧ください。

### 空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1